

2019年度 OIU・OIC キッズキャンパス



目次

1. 趣旨
2. 開催回数、参加合計
3. キッズキャンパス循環メカニズム
4. 活動紹介(写真付き)
5. 守口市立よつば小学校 校長先生からのコメント
6. 教員コメント
7. 学生リーダーの感想
8. 2019年度実施状況

1. 趣旨

子どもたちへの学習支援と居場所づくりを目的に2017年4月から開始しました。
守口市立よつば小学校の3年生から6年生までの子どもたちがキャンパスに集まり、
学生ボランティアと一緒に、毎月違った体験型の「学び・食育・遊び」を行うプログラムです。

大阪国際大学
大阪国際大学短期大学部

守口市
社会福祉協議会

キッズキャンパス



守口市立
よつば小学校

守口市民生委員
児童協議会

学生企画の運営、他の主体者企画のサポートをしてきた 学生リーダーと学生サポーターたち



手に持っているお米：毎回活動終了後に学生と児童で手植えし、収穫した南山城村産のお米を提供

2. 開催回数、参加合計

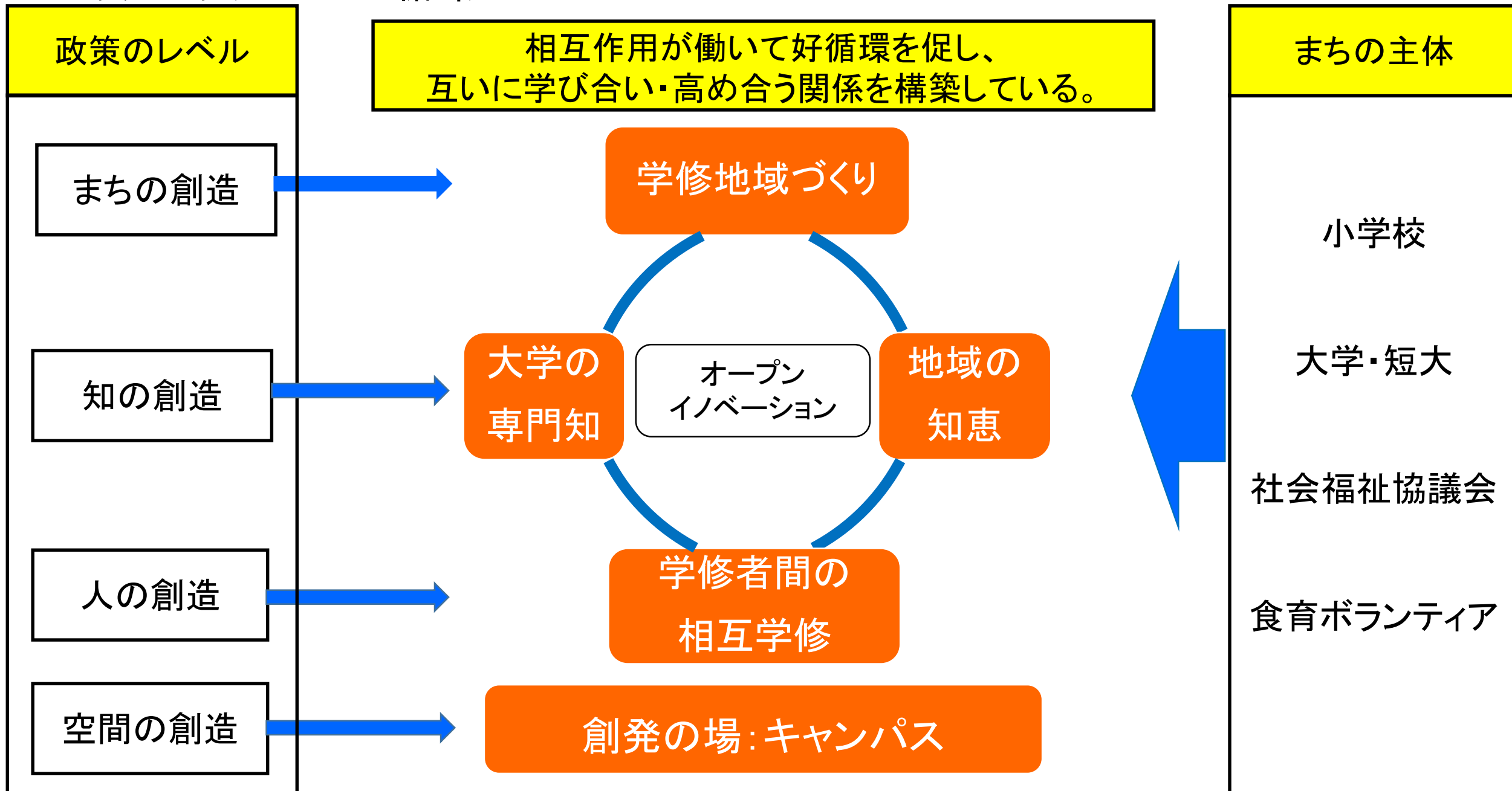
開催回数：全8回（10月、2月、3月はリスク対応で中止）

参加合計：児童195名、学生113名、食育ボランティア他100名

企画モデル一覧	企画数
学生主導型（学生企画：学生リーダー）	4
学科連携型（教員企画：渡邊講師、海老澤講師）	2
クラブ連携型（クラブ企画：吹奏楽部、陸上競技部、バレーボール部）	3
守口市社会福祉協議会主導型	3
食育ボランティア主導型	2
南山城村 自然体験型	2

新型コロナウイルス感染予防対応で以下の企画は中止
防災フェスタ体験型、関西国際空港での外国人交流型

3. キッズキャンパスの循環メカニズム



4. 活動紹介(写真付き)

学生主導型①: 母の日のプレゼントづくり



学生主導型②: 協力リレー(身体障がい者理解学習)



学生主導型③:「つかめる水」体験



学生主導型④:オリンピック(アーチェリー作り)



学科連携型①: 渡邊講師(幼児保育学科)



学科連携型②: 海老澤講師(栄養士コース)



クラブ連携型①：吹奏楽部（顧問：朝倉教授、光本助教）



クラブ連携型②：陸上競技部（顧問：小倉教授）



クラブ連携型③: バレーボール部(春田監督、森田監督)



守口市社会福祉協議会主導型①：流しそうめん & かき氷



守口市社会福祉協議会主導型②: 盲導犬理解学習



守口市社会福祉協議会主導型③:うちわ作り



食育ボランティア主導型①：料理教室「カレーライス＆サツマイモ餃子」



食育ボランティア主導型②：料理教室「サツマイモ餃子」



南山城村 自然体験型①: 手植え体験



南山城村 自然体験型②：収穫体験



食を通じたコミュニケーション(毎月)



毎回昼食を作ってくれる食育ボランティアのみなさん



幼児保育学科の卒業生 横田 凧さんがシンボル旗をデザイン！



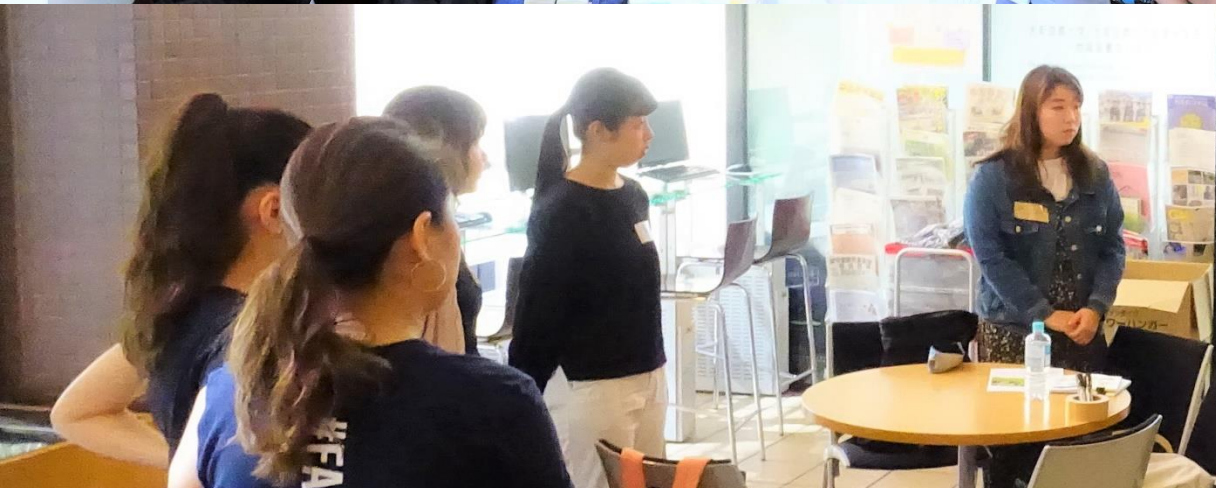
留学生別科生にとって、日本の児童との交流の場



コラージュ



コラージュ



5. 守口市立よつば小学校 校長先生からのコメント

守口市立よつば小学校 校長 吉川弘美 先生

ありがとうございます！キッズキャンパスを支えてくださる皆様。
よつば小学校の子どもたちのために、学びと交流の場を与えていただき、
感謝申し上げます。

小学校の中では経験できない田植えや稲刈り、大学ならではの幅広い
学びの視点、栄養バランスや食べる意欲を考えた食育・料理教室、学生
の皆さんと子どもたちとのコミュニケーション等、頭も心も身体も大きく成長
する機会となっております。

今後もキッズキャンパスによつば小学校の子どもたちが参加させていただ
けますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

6. 教員コメント

笠井 敏光 教授

(国際教養学部 国際観光学科、地域協働センター委員)

「よつば小学校の子どもたちへの学習支援と居場所づくりを目的に、2017年度から始まったキッズキャンパスは、学内の学生・学科・クラブとの連携、守口市社会福祉協議会・食育ボランティア・南山城村など、地域の方々のご協力により「体験型プログラム」として発展しました。

事業の企画・運営を通じて学生たちは大きく成長し、地域や社会を知ることによって社会人基礎力を養われたものと思われます。

このような協働の機会を頂きました関係各位に厚く御礼申し上げます」

7. 学生リーダーの感想(8名)

松石 大樹さん(国際教養学部 国際コミュニケーション学科)

「子どもたちの豊かな感性には常に感心させられ、そこから学ばされたことも多くありました。また、**リーダーとして多くの人と協働した経験**は、**“チームワーク”や“リーダーシップ”**というものについて考える良い機会となりました」

新城 結唯さん(国際教養学部 国際コミュニケーション学科)

「キッズキャンパスに参加して、**地域の方との連携の大切さ**を改めて感じました。名前を覚えてもらったり、一緒に企画を練ったりしていく中で、地域の方とコミュニケーションを重ね、**子どもたちに楽しさだけでなく学びも提供**できたのではないかと思います」

川本 優太さん(グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科)

「私は1年次生からキッズキャンパスに参加しており、**子どもたちの成長を見てきました**。学生リーダーが考えたイベントや地域の方々との交流で、子どもたちは**とても良い笑顔**を見せ、学生ボランティアと一緒に楽しんでくれたので、リーダーとしてとても嬉しく感じました。

昨年度末は新型コロナウイルスの関係により開催出来ず、昨年度卒業した6年生に直接『ご卒業おめでとう』という言葉伝えることが出来なくてとても残念でした。今年度は6年生に『ご卒業おめでとう』と言える機会ができることを願っています」

笹淵 星花さん(国際教養学部 国際観光学科)

「キッズキャンパスに関わるようになり、人をまとめるという大変さを知りました。それに加え、より子どもたちを楽しませたいという気持ちがチームワークを作っていたと考えます。キッズキャンパスで**責任感と団結力が身につきました**」

井上 彩香さん(国際教養学部 国際観光学科)

「企画の構成や準備、企画関係者との打ち合わせなどやることが多く、さらに子ども向けで気も使うので大変でした。でも、**メンバーで役割を分担し動いたことでいい企画ができ、子どもたちにも喜んでもらったので、いい経験になりました**」

中山 咲稀さん(短期大学部 幼児保育学科)

「キッズキャンパスに初めて参加させていただいた時、始めは何をしたらいいのか、どう動いたらいいのかなど分からないことがありましたが、前から参加している学生の動きを見たり、何をしたらいいかなど自分から聞きに行くと優しくアドバイスをしてもらえるので分からないことがあれば、分からないままにせず質問していくことも大切だと思いました。

ミーティングなどでも子どもたちに何を学んでほしいかや、興味を持ってもらうにはどうしたらいいかなど学生同士で意見を出し合い、1からキッズキャンパスの企画をつくっているということを体験できて良かったです」

吉田 小春さん(短期大学部 幼児保育学科)

「昨年度、初めて参加しました。最初は小学生と上手く関われるのか不安でしたが、分からないことを先輩に聞くと真摯に応えてくださるので、楽しく子どもたちと関わることができ、将来のための良い経験にもなりました。

子どもたちが興味を持って活動ができる、意欲を引き出すことができる声かけや支援の仕方を学ぶことができました」

渕上 菜々さん(短期大学部 幼児保育学科)

「先輩方が先頭に立って会議をし、企画をつくっていく姿がかっこよく、本番当日もグループ分けや進行がスムーズだったので、前段階の会議はとても大切だと感じました。

子どもたちと沢山学んで遊んで美味しいご飯も一緒に食べたことで、自然と笑顔が子どもも学生もでていたいい日々でした！

反省点など会議をしてまとめていたので今後に繋がると思いました。早くこどもたちと会いたいです」

8. 2019年度 実施状況

	日程		午前プログラム	昼食	午後プログラム
第1回	5月11日	土	食育ボランティア企画:料理教室「カレーライス作り」		学生企画:母の日のプレゼント作り
第2回	5月18日	土	田植え体験 in 南山城村		
第3回	6月22日	土	楽器 & 指揮者体験(協力:吹奏楽部)	とうもろこしご飯 他	学生企画:協力リレー(身体障がい者理解)
第4回	7月20日	土	学生企画:つかめる水体験)	社協企画:流しそうめん他	社協企画:うちわ作り、盲導犬理解学習
第5回	9月14日	土	稲刈り体験 in 南山城村		
第7回	11月9日	土	かけっこ教室(協力:陸上競技部)	玉ねぎたっぷりのカレーライス	学生企画:オリンピック(アーチェリー作り)
第8回	12月21日	土	食育ボランティア企画:料理教室「サツマイモ餃子づくり」他		クリスマスツリー作り(協力:渡邊詩子 講師)
第9回	1月11日	土	味覚の授業(協力:海老澤薫 講師)	お餅(あん・きなこ・焼き)、豚汁	バレーボール教室(協力:バレーボール部)

中止: 第6回(10月、学生企画「オリンピック、パラリンピック」)、第10回(2月、防災フェスタとの共催)、第11回(3月、キッズキャンパスin関西国際空港)